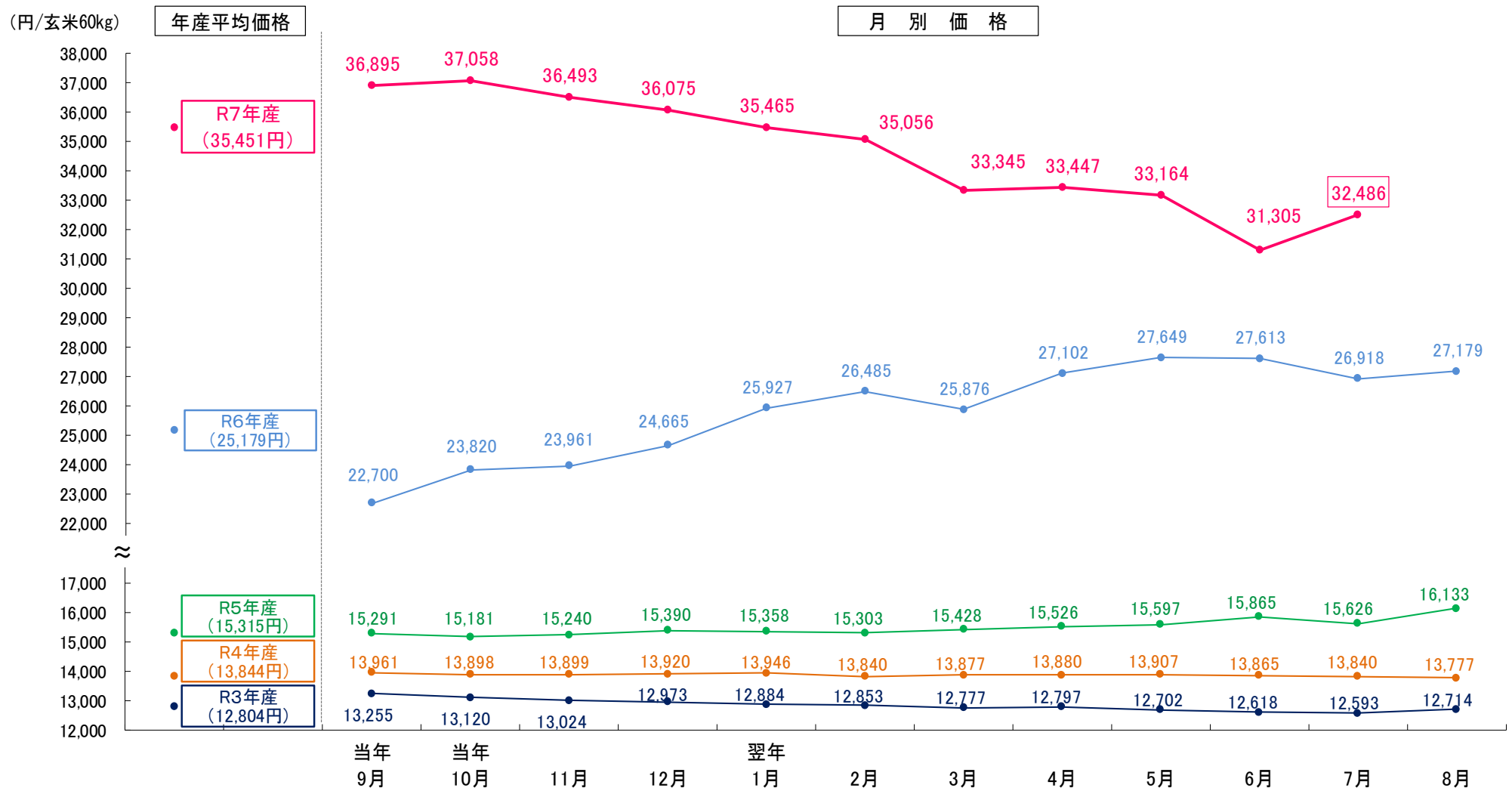


相対取引価格の推移(令和3年産～令和7年産)

- 令和7年産米の令和8年7月の相対取引価格は、全銘柄平均で32,486円/玄米60kgとなり、対前年同月+5,568円（+21%）、対前月+1,181円（+4%）となったところ。また、取引数量は、7.9万トン（対前年同月比+95%）となった。
- 令和8年7月は、令和7年産米の取引（契約）が終盤であり、令和7年産米の取引数量全体の約4%であることから、7月の取引価格が令和7年産米の取引全体に与える影響は小さい（次ページ参照）。
- 年産平均価格は35,451円/玄米60kgとなり、対前年+10,272円（+41%）となった。
（※令和8年6月（速報）における年産平均価格（35,573円）に比べ、▲122円。）



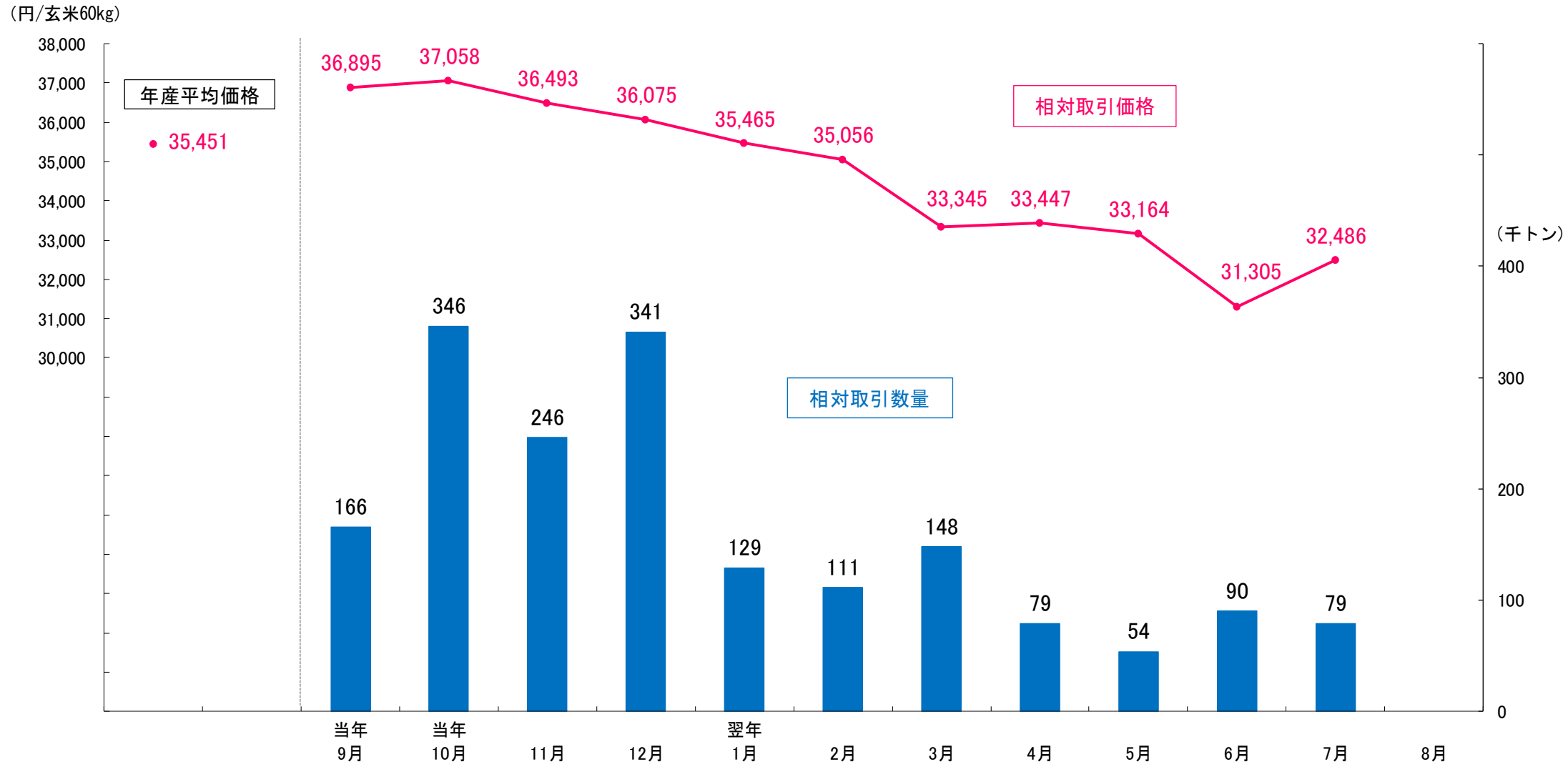
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

注2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（7年産は出回りから令和8年7月までの速報値）の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

令和7年産米の相対取引価格

- 令和8年7月の取引数量は7.9万トンと、これまでの令和7年産米の取引数量全体の約4%であるため、7月の取引価格が令和7年産米の取引全体に与える影響は小さい。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

注2：グラフ左側の年産平均価格は、出回りから翌年7月までの通年平均価格（速報値）、右側は月ごとの価格の推移。